



各種委員会委員一覧

1. 運営会議

委員：朝岡康二	国立歴史民俗博物館名誉教授
浅野秀剛	(財)大和文華館館長
揖斐高	成蹊大学文学部教授
岡崎久司	九州大学客員教授
工藤眞由美	大阪大学大学院文学研究科教授／大学教育実践センター長
小島孝之	成城大学文芸学部教授
十川信介	(財)日本近代文学館副理事長
名和修	(財)陽明文庫長
平野由紀子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授
ヘルベルト・プルチョウ	城西国際大学国際人文学部長
松尾正人	中央大学文学部教授
大高洋司	文学資源研究系教授
大友一雄	アーカイブズ研究系教授
小林健二	文学資源研究系研究主幹
鈴木淳	副館長
高橋実	アーカイブズ研究系研究主幹
武井協三	文学形成研究系研究主幹
谷川恵一	複合領域研究系研究主幹
寺島恒世	文学資源研究系教授
中村康夫	文学形成研究系教授
古瀬蔵	複合領域研究系教授

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 4 月 22 日 (水) 14:00～16:00

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. 人間文化研究機構国文学研究資料館名誉教授の候補者について
2. 第二期中期目標期間における研究実施体制について

【報告事項】

1. 中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について
2. 平成 20 年度に係る業務の実績に関する評価について
3. 平成 21 年度計画について

4. 第二期中期目標・中期計画（素案）について
5. 研究教育職員の人事異動について

第2回 平成21年12月8日（火）14：00～16：00

場 所 第1会議室

【審議事項】

1. 研究教育職員の人事について
2. 助教の准教授任用に関する申合せについて
3. 第二期中期目標期間における教員の研究領域について
4. 平成22年度客員教員及び外国人研究員について

【報告事項】

1. 平成22年度概算要求と事業仕分けの状況について
2. 平成20年度に係る業務の実績に関する評価結果について
3. 第二期中期目標・中期計画（素案）について
4. 韓国・高麗大学校日本研究センターとの学術交流協定について
5. 平成21年度催し物について
6. 当館の管理運営について
 - （1）第2回日本古典文学学術賞について
 - （2）立川キャンパスについて

第3回 平成22年3月18日（木）15：00～17：00

場 所 第1会議室

【審議事項】

1. 国文学研究資料館の組織の改正について
2. 研究教育職員の人事について
3. 外国人研究員の客員の称号付与について

【報告事項】

1. 平成22年度概算要求について
2. 平成21年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について
3. 第二期中期目標・中期計画について
4. 平成22年度計画（案）について
5. 館内の催し物について

【その他】

1. 職員の人事異動について

2. 共同研究委員会

委員：浅田 徹	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授
井原 今朝男	国立歴史民俗博物館歴史研究系教授
中嶋 隆	早稲田大学教育・総合科学学術院教授
中丸 宣明	山梨大学教育人間科学部教授
三田村 雅子	上智大学文学部教授
三村 晃功	京都光華女子大学文学部教授
鈴木 淳	副館長
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
小林 健二	文学資源研究系教授
武井 協三	文学形成研究系教授
高橋 実	アーカイブズ研究系教授
谷川 恵一	複合領域研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
落合 博志	文学資源研究系准教授
陳 捷	アーカイブズ研究系准教授

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 11 月 24 日（火）13：40～16：25

場 所 オリエンテーション室

【協議事項】

1. 平成 22 年度研究計画（案）について
2. その他

第 2 回 平成 22 年 3 月 25 日（木）10：00～12：40

場 所 第 2 会議室

【協議事項】

1. 平成 21 年度基幹研究・プロジェクト研究・公募研究の実施状況について
2. 平成 22 年度公募共同研究の変更について
3. 平成 23 年度公募共同研究の公募について
4. その他

3. 調査収集委員会

委員：久保田 啓 一	広島大学大学院文学研究科教授
兼 築 信 行	早稲田大学文学学術院教授
千 本 英 史	奈良女子大学文学部教授
山 田 俊 治	横浜市立大学国際総合科学部教授
山 本 英 二	信州大学人文学部准教授
山 本 和 明	相愛大学人文学部教授
山 本 登 朗	関西大学文学部教授
鈴 木 淳	副館長
大 高 洋 司	文学資源研究系教授
武 井 協 三	文学形成研究系教授
谷 川 恵 一	複合領域研究系教授
寺 島 恒 世	文学資源研究系教授
渡 辺 浩 一	アーカイブズ研究系教授
青 木 睦	文学形成研究系准教授
青 田 寿 美	複合領域研究系准教授
落 合 博 志	文学資源研究系准教授
齋 藤 真麻理	文学形成研究系准教授

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年度 5 月 15 日（金）15：30～17：00

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. 平成 20 年度「調査」・「収集」結果について
2. 平成 21 年度「調査」・「収集」計画について
3. 収集保存方法に関する基本方針について
4. 画像公開について

第 2 回 平成 22 年 2 月 23 日（火）15：00～16：30

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 21 年度「調査」・「収集」結果について
2. 平成 22 年度「調査」・「収集」計画について
3. 収集保存方法に関する基本方針について

4. 図書館事業委員会

委員：市 古 夏 生	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科長
宮 尾 恵 美	国立国会図書館主題情報部古典籍課長
星 野 雅 英	東京大学附属図書館事務部長
根 岸 正 光	国立情報学研究所情報社会相関研究系教授
宮 崎 勝 美	東京大学史料編纂所近世史料部教授
鈴 木 淳	副館長
大 友 一 雄	アーカイブズ研究系教授
高 橋 実	アーカイブズ研究系教授
中 村 康 夫	文学形成研究系教授
山 下 則 子	文学形成研究系教授
陳 捷	アーカイブズ研究系准教授
野 本 忠 司	複合領域研究系准教授

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 22 年 3 月 25 日（木）13：15～14：30

場 所 第 1 会議室

【協議事項】

1. 平成 21 年度図書館事業報告・評価について
2. 平成 22 年度図書館事業計画について

5. 電子情報委員会

委員：横 山 伊 徳	東京大学史料編纂所長
石 塚 英 弘	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授
高 木 元	千葉大学文学部教授
丸 山 勝 巳	国立情報学研究所アーキテクチャ科学研究系教授
マイケル・ワトソン	明治学院大学国際学部教授
鈴 木 淳	副館長
伊 藤 鉄 也	文学形成研究系教授
小 林 健 二	文学資源研究系教授
古 瀬 蔵	複合領域研究系教授
山 崎 誠	文学資源研究系教授
野 本 忠 司	複合領域研究系准教授
山 田 哲 好	アーカイブズ研究系准教授
北 村 啓 子	複合領域研究系助教

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 7 月 29 日（金）14：00～

場 所 機構本部大会議室

【報告事項】

1. 研究事業用システムの仕様について

第 2 回 平成 22 年 2 月 23 日（火）14：00～

場 所 第 1 会議室

【報告事項】

1. 電子情報事業部会報告について
2. 第 7 期情報システムについて
3. 研究事業用システムについて
4. 第 8 期情報システムについて

6. 学術企画連携委員会

委員：井 上 俊 治	NHK 文化センター事業部長
佐 伯 眞 一	青山学院大学文学部教授
晒 名 昇	元筑摩書房編集部次長
竹 本 幹 夫	早稲田大学文学学術院教授
別 府 節 子	出光美術館学芸員
宮 崎 康 充	宮内庁書陵部図書調査官
鈴 木 淳	副館長
大 友 一 雄	アーカイブズ研究系教授
小 林 健 二	文学資源研究系教授
武 井 協 三	文学形成研究系教授
中 村 康 夫	文学形成研究系教授
古 瀬 蔵	複合領域研究系教授
山 崎 誠	文学資源研究系教授
齋 藤 真麻理	文学形成研究系准教授

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 22 年 3 月 15 日（金）14：05～15：50

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. 平成 21 年度に実施した事業について
2. 平成 22 年度予定している事業について

7. 国際日本文学研究集会委員会

委員：小 嶋 菜温子	立教大学文学部教授
関 礼 子	亜細亜大学経済学部教授
村 尾 誠 一	東京外国語大学外国語学部教授
横 井 孝	実践女子大学文学部教授
ロバート・キャンベル	東京大学大学院総合文化研究科教授
鈴 木 淳	副館長
伊 藤 鉄 也	文学形成研究系教授
大 友 一 雄	アーカイブズ研究系教授
山 下 則 子	文学形成研究系教授
渡 辺 浩 一	アーカイブズ研究系教授
青 田 寿 美	複合領域研究系准教授
陳 捷	アーカイブズ研究系准教授
野 本 忠 司	複合領域研究系准教授
相 田 満	アーカイブズ研究系助教
加 藤 聖 文	文学資源研究系助教
前 川 佳遠理	アーカイブズ研究系助教

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 7 月 27 日（月）14：00～17：15

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 第 33 回国際日本文学研究集会公開講演者の決定について
2. 第 33 回国際日本文学研究集会招待発表者の決定について
3. 第 33 回国際日本文学研究集会発表者の決定について
4. 第 33 回国際日本文学研究集会ポスターセッション発表者の決定について
5. 第 33 回国際日本文学研究集会プログラムの決定について

【報告事項】

1. 第 34 回国際日本文学研究集会の申請について

第 2 回 平成 21 年 11 月 28 日（土）10：30～11：45

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 第 33 回国際日本文学研究集会の準備状況について
2. 第 33 回国際日本文学研究集会運営の細部打合わせについて
3. 第 34 回国際日本文学研究集会の実施計画について

8. 主幹・部長会議

委員：今 西 祐一郎	館長
鈴 木 淳	副館長
小 林 健 二	文学資源研究系研究主幹
武 井 協 三	文学形成研究系研究主幹
谷 川 恵 一	複合領域研究系研究主幹
高 橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
寺 島 恒 世	調査収集事業部長
古 瀬 蔵	電子情報事業部長
山 下 則 子	情報サービス事業部長
大 友 一 雄	学術企画連携部長
中 村 康 夫	日本文学研究専攻長
大 高 洋 司	文化科学研究科長
岡 崎 省 二	管理部長
添 田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆 憲	管理部財務課長
新馬場 正 人	管理部学術情報課長

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 4 月 9 日（木）10：00～12：00

場 所 第 2 会議室

【協議事項】

1. 平成 21 年度兼業について
2. 第二期中期目標期間における研究実施体制について
3. 運営会議の開催について
4. 国文学研究資料館情報セキュリティポリシーについて

【報告事項】

1. 委員会委員等について
2. Web ページの運用について
3. 平成 21 年度科学研究費補助金の内定について
4. 平成 20 年度館長裁量経費の配分結果について
5. 機構会議について
6. 大学共同利用日本語研究機関設置準備委員会について
7. 事務連絡協議会について
8. その他
 - ① 山鹿家資料について

第 2 回 平成 21 年 4 月 23 日（水）10：00～11：50

場 所 第 2 会議室

【協議事項】

1. リサーチアシスタントの採用について
2. 外来研究員の受入れについて
3. 人間文化研究総合推進事業 2009 年度活動提案の申請について

【報告事項】

1. 日台共催シンポジウム「キャラクターの古典化」について
2. 平成 22 年度日本学術振興会国際研究集会・外国人招へい研究者・外国人特別研究員の募集について
3. 企画・連携・広報室会議について
4. 機構本部評価委員会作業部会について
5. 外国出張及び海外研修について

第 3 回 平成 21 年 5 月 14 日（木）10：00～11：50

場 所 第 2 会議室

【協議事項】

1. 平成 21 年度リサーチアシスタントの採用について
2. 平成 22 年度日本学術振興会特別研究員の申請について

【報告事項】

1. 平成 21 年度特別共同利用研究員の受入れについて
2. 平成 21 年度科学研究費補助金の内定について
3. 人間文化研究総合推進事業 2009 年度活動提案の採択について
4. 機構会議について
5. 企画・連携・広報室会議について
6. 機構本部評価委員会について
7. 機構本部評価委員会作業部会について
8. 事務連絡協議会について
9. 連携展示「百鬼夜行の世界」について
10. 外国出張及び海外研修について
11. その他
 - ① 平成 21 年度決算会計実地検査について
 - ② 平成 22 年度概算要求に向けての検討課題について

第 4 回 平成 21 年 6 月 4 日（木）13：30～15：00

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 第二期中期目標・中期計画検討委員会について
3. 企画・連携・広報室会議について
4. 事務連絡協議会について
5. 連携展示「百鬼夜行の世界」について
6. 外国出張及び海外研修について

7. 第2回日本古典文学学術賞について
8. その他
 - ① 会計検査報告について

第5回 平成21年6月25日(木) 13:30~15:30

場 所 第2会議室

【協議事項】

1. 教員の公募について
2. 外来研究員の受入れについて

【報告事項】

1. 平成20年度評価資料編について
2. 経営協議会について
3. 教育研究評議会について
4. 企画・連携・広報室会議について
5. 機構本部評価委員会について
6. 平成22年度概算要求について
7. 外国出張及び海外研修について
8. その他
 - ① 省エネについて
 - ② 構内清掃について
 - ③ 人事異動について

第6回 平成21年7月16日(木) 13:30~15:00

場 所 第2会議室

【協議事項】

1. 外国人研究員の受入れについて
2. 国文学研究資料館研究推進支援制度要項の制定について
3. 教員研究室(助教)の移転計画について

【報告事項】

1. 教員研究室(助教)の移転計画について
2. 機構会議について
3. 企画・連携・広報室会議について
4. 事務連絡協議会について
5. 外国出張及び海外研修について
6. その他
 - ① 公開講演会・シンポジウム「百鬼夜行の世界」について
 - ② 機構連携展示「百鬼夜行の世界」内覧会について
 - ③ 極地研・統数研の移転式典について

第7回 平成21年7月30日(木) 13:30~15:00

場 所 第2会議室

【協議事項】

1. 国文学研究資料館ハラスメント防止等に関する規定の制定について

【報告事項】

1. 外国出張及び海外研修について
2. 平成 21 年度財政支援要望について
3. その他
 - ① 太陽光パネルについて
 - ② 連携展示「百鬼夜行の世界」内覧会及び入館者数について
 - ③ 子ども見学デーについて
 - ④ 日本古典文学学術賞授賞式について
 - ⑤ 極地研・統数研の移転式典について

第 8 回 平成 21 年 9 月 3 日（木）13：30～15：00

場 所 第 2 会議室

【協議事項】

1. 教員の公募について
2. 任期が付されていない助教の准教授任用に関する申合せについて
3. 後援名義使用許可願について

【報告事項】

1. 平成 21 年度科学研究費補助金の分担金について
2. 日本学術振興会特別研究員の中途辞退について
3. 外国出張及び海外研修について
4. その他
 - ① 連携展示「百鬼夜行の世界」について
 - ② 館長裁量経費の配分について
 - ③ 平成 22 年度概算要求について
 - ④ 人事院勧告について

第 9 回 平成 21 年 10 月 8 日（木）13：30～15：30

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 大学共同利用日本語研究機関設置準備委員会について
3. 企画・連携・広報室会議について
4. 事務連絡協議会について
5. 立川移転二機構事務連絡会事務連絡協議会について
6. 規程の改正等について
7. 外国出張及び海外研修について
8. その他
 - ① 第 33 回国際日本文学研究集会について
 - ② サテライト講座について

- ③ 平成 22 年度館内予算配分案策定スケジュールについて
- ④ 科学研究費補助金内部監査報告について

第 10 回 平成 21 年 10 月 22 日（木）13：30～15：00

場 所 第 2 会議室

【協議事項】

- 1. 外来研究員の受入れについて
- 2. デジタル画像公開選定基準について

【報告事項】

- 1. 平成 21 年度研究成果刊行促進制度について
- 2. 企画・連携・広報室会議について
- 3. 外国出張及び海外研修について
- 4. その他
 - ① 情報事業センター会議報告
 - ② 施設マネジメント委員会報告

第 11 回 平成 21 年 11 月 12 日（木）13：30～15：00

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1. 平成 22 年度科学研究費補助金の申請について
- 2. 平成 22 年度採用分日本学術振興会特別研究員の審査結果について
- 3. 韓国・高麗大学校日本研究センターとの学術交流協定について
- 4. 大学共同利用機関協議会総会について
- 5. 教育研究評議会について
- 6. 企画・連携・広報室会議について
- 7. 事務連絡協議会について
- 8. 第二期中期目標期間における教員の研究領域について
- 9. 人事協議会について
- 10. 外国出張及び海外研修について
- 11. その他
 - ① 春日懐紙の重要文化財指定について

第 12 回 平成 21 年 12 月 3 日（木）13：30～12：00

場 所 第 2 会議室

【協議事項】

- 1. 平成 22 年度研究計画について
- 2. 平成 22 年度客員教員及び機関研究員について
- 3. 平成 22 年度機関研究員の公募要項について
- 4. 外来研究員の受入れについて
- 5. 運営会議の開催について
- 6. 第二期中期目標期間における教員の研究領域について

【報告事項】

1. 韓国・高麗大学校日本研究センターとの学術交流協定の締結について
2. 経営協議会について
3. 機構会議について
4. 評価委員会について
5. 第二期中期目標・中期計画（素案）について
6. 外国出張及び海外研修について
7. その他
 - ① 研究教育職員の人事異動について

第13回 平成21年12月24日（木）13：30～15：00

場 所 第2会議室

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画・連携・広報室会議について
3. 事務連絡協議会について
4. 外国出張及び海外研修について
5. その他
 - ① 立川観光周遊ルート作成のためのアート作品展示の依頼について
 - ② 後援名義使用許可願について

第14回 平成22年1月21日（木）13：30～15：00

場 所 第2会議室

【報告事項】

1. 平成22年度採用分日本学術振興会特別研究員の選考結果について
2. 機構会議について
3. 企画・連携・広報室会議について
4. 事務連絡協議会について
5. 外国出張及び海外研修について
6. その他
 - ① 平成22年度予算ヒアリングについて
 - ② 工事関係について
 - ③ IP電話について
 - ④ 展示・講演会「江戸の歌仙絵」について

第15回 平成22年2月4日（木）15：30～17：30

場 所 第2会議室

【協議事項】

1. 後援名義使用許可願について

【報告事項】

1. デジタル画像の作成・保存体制について

2. 機構会議について
3. 企画・連携・広報室会議について
4. 事務連絡協議会について
5. 外国出張及び海外研修について

第16回 平成22年2月17日（水）13：00～15：30

場 所 第2会議室

【協議事項】

1. 平成22年度外国人研究員の招へい及び機関研究員の採用について
2. 平成22年度リサーチアシスタントの採用について
3. 寄附金の受入れについて
4. 平成22年度科学研究費補助金（特別研究員奨励費）申請について
5. 協力名義使用許可願について
6. 平成22年度概要について

【報告事項】

1. ハラスメント防止委員会の委員等について
2. 企画・連携・広報室会議について
3. その他
 - ① 移転3機関課長連絡会について
 - ② 施設マネジメント委員会について

第17回 平成22年3月4日（木）13：30～15：30

場 所 第2会議室

【協議事項】

1. 平成22年度兼業について
2. 平成22年度機関研究員の採用について
3. 平成22年度機関研究員の公募について
4. 平成22年度予算（案）について
5. 運営会議の開催について
6. 規程等の制定及び改廃について

【報告事項】

1. 平成21年度基幹研究・研究プロジェクト・公募共同研究の実施状況について
2. 平成22年度催し物について
3. 企画・連携・広報室会議について
4. 機構会議について
5. その他
 - ① 新学術領域研究のヒアリング決定について
 - ② 当館所蔵「春日懐紙」の重要文化財指定について

第18回 平成22年3月25日（木）15：30～17：30

場 所 第2会議室

【協議事項】

1. 平成 22 年度兼業について
2. 規程の制定及び改廃について

【報告事項】

1. 教員の管理職の人事について
2. 館内委員会委員等の交替について
3. 情報事業センターの構成員について
4. 教育研究評議会について
5. 経営協議会について
6. その他
 - ① 当館所蔵「春日懷紙」の重要文化財指定について
 - ② 国文学研究資料館リーフレットについて

9. 人事委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
鈴 木 淳	副館長
小 林 健 二	文学資源研究系研究主幹
武 井 協 三	文学形成研究系研究主幹
谷 川 恵 一	複合領域研究系研究主幹
高 橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
岡 崎 省 二	管理部長
添 田 勉	管理部総務課長

10. 研究系会議

委員：鈴 木 淳	副館長
小 林 健 二	文学資源研究系研究主幹
武 井 協 三	文学形成研究系研究主幹
高 橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷 川 恵 一	複合領域研究系研究主幹
落 合 博 志	文学資源研究系准教授
齋 藤 真麻理	文学形成研究系准教授
野 本 忠 司	複合領域研究系准教授
山 田 哲 好	アーカイブズ研究系准教授
添 田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆 憲	管理部財務課長

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 4 月 14 日（火）13：30～15：20

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 21 年度リサーチアシスタントの採用について
2. 外来研究員の受入について
3. 人間文化研究総合推進事業 2009 年度活動提案の募集について
4. 連携研究について
5. 英国芸術・人文リサーチカウンスル（AHRC）の受入大学院生の対応について

【報告事項】

1. 平成 21 年度科学研究費補助金の交付内定について
2. 機関研究員・プロジェクト研究員研究成果報告の概略・研究成果報告について
3. RA 研究成果報告書・研究指導報告書について
4. 世界最先端の研究計画について
5. 人間文化研究機構研究資源共有化事業委員会について
6. 「研究費執行手続きマニュアル」の周知徹底について

第 2 回 平成 21 年 4 月 21 日（火）16：30～18：00

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 人間文化研究総合推進事業 2009 年度活動提案の募集について
2. 研究プロジェクト発表会の開催日時について

第 3 回 平成 21 年 5 月 13 日（水）16：00～17：20

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 21 年度リサーチアシスタントの採用について
2. 平成 22 年度日本学術振興会特別研究員（PD）の申請について

【報告事項】

1. 共同研究の成果報告について
2. 人間文化研究総合推進事業 2009 年度活動提案の採択結果について
3. 連携研究について
4. 平成 21 年度特別共同利用研究員の受入について
5. 平成 21 年度科学研究費補助金の交付内定について

第 4 回 平成 21 年 6 月 17 日（水）13：35～14：50

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 研究プロジェクト発表会について
2. 共同研究の成果報告について
3. 外来研究員の受入について

【報告事項】

1. 平成 22 年度日本学術振興会特別研究員（PD）の申請について
2. 人間文化研究総合推進事業 2009 年度活動提案課題の採択結果について
3. 連携研究について
4. 平成 22 年度学術システム研究センター研究員候補者の推薦について

第 5 回 平成 21 年 7 月 9 日（木）15：30～16：40

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 研究推進支援制度について
2. 共同研究の成果報告について
3. 平成 22 年度外国人研究員について

【報告事項】

1. 科学研究費補助金説明会について

第 6 回 平成 21 年 9 月 15 日（火）15：30～17：10

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 22 年度における研究プロジェクトの編成について
2. 平成 22 年度客員教員及び機関研究員について

【報告事項】

1. 平成 22 年度日本学術振興会国際研究集会の申請結果について
2. 平成 21 年度科学研究費補助金分担金の受入等について
3. 第 33 回国際日本文学研究集会について
4. 平成 21 年度日本学術振興会特別研究員の受入期間の変更について
5. 英国芸術・人文リサーチカウンスルとの協定に基づく大学院生の受入れについて
6. 平成 22 年度科学研究費補助金申請スケジュールについて
7. コロンビア大学との国際シンポジウム開催について

第 7 回 平成 21 年 10 月 14 日（水）13：30～16：00

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 22 年度研究計画について
2. 平成 22 年度客員教員等の配置について
3. 外来研究員の受入れについて

第 8 回 平成 21 年 11 月 11 日（水）13：30～16：45

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 22 年度研究計画（案）について
2. 平成 22 年度客員教員及び機関研究員等について

3. 平成 22 年度研究関係予算（案）について

【報告事項】

1. 平成 22 年度科学研究費補助金の申請について
2. 平成 22 年度採用分日本学術振興会特別研究員審査結果について
3. 平成 21 年度研究経費の執行状況について
4. 韓国・高麗大学校との学術交流協定について

第 9 回 平成 21 年 12 月 3 日（木）11：00～12：15

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 22 年度機関研究員公募要項（案）について
2. 外来研究員の受入れについて

【報告事項】

1. 平成 22 年度共同研究の部屋割りについて
2. 研究成果の発表形態について

第 10 回 平成 21 年 12 月 15 日（火）10：35～11：30

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 研究成果の発表形態について
2. 平成 21 年度予算執行について

【報告事項】

1. 機関研究員の公募について

第 11 回 平成 22 年 1 月 19 日（火）13：40～15：00

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 22 年度の共同利用研究室の使用について
2. 研究プロジェクト発表会について
3. 平成 21 年度基幹研究・プロジェクト研究・公募研究の実施状況について

【報告事項】

1. 機関研究員の応募状況について
2. 平成 22 年度リサーチアシスタントの採用について
3. 人間文化研究機構と英国芸術・人文リサーチ・カウンシルとの協定に基づく英国大学院生受入要項の制定について
4. 平成 22 年度採用分日本学術振興会特別研究員の選考結果について
5. 平成 21 年度予算執行について

第 12 回 平成 22 年 2 月 16 日（火）15：30～18：55

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 22 年度外国人研究員について
2. 機関研究員の採用について
3. リサーチアシスタントの採用について
4. 平成 21 年度基幹研究・プロジェクト研究・公募研究の実施状況について
5. 規程等の改訂について
6. 寄附金の受入れについて
7. 科学研究費補助金（特別研究員奨励費）の申請について
8. 平成 22 年度研究プロジェクト発表会の日程について
9. 公募共同研究の変更について

【報告事項】

1. 22 年度連携共同推進事業経費予算の基本的な考え方について
2. 旅行計画書提出時の留意点について
3. 平成 22 年度世界トップレベル研究拠点プログラムの公募について

第 13 回 平成 22 年 2 月 24 日（水）15：30～17：20

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 機関研究員の採用について
2. 機関研究員の公募について
3. 平成 21 年度基幹研究・プロジェクト研究・公募研究の実施状況について
4. 規程等の改正について

第 14 回 平成 22 年 3 月 9 日（火）15：30～17：30

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. 平成 23 年度共同研究募集要項（案）について
2. 平成 22 年度共同研究使用部屋の配置について

【報告事項】

1. 平成 22 年度科学研究費補助金「新学術領域研究（研究領域提案型）」のヒアリング研究領域の選定結果について

11. 情報事業センター会議

委員：鈴木 淳	情報事業センター長
寺島 恒世	調査収集事業部長
古瀬 蔵	電子情報事業部長
山下 則子	情報資料サービス事業部長
大友 一雄	学術企画連携部長
伊藤 鉄也	文学形成研究系教授
谷川 恵一	複合領域研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
添田 勉	管理部総務課長
新馬場 正人	管理部学術情報課長

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 5 月 26 日（火）13：30～15：30

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. ワーキンググループ（デジタル画像の公開・保存）の設置について
2. 館蔵資料の画像データベースについて（第Ⅱ期中期目標に向けて）

第 2 回 平成 21 年 6 月 16 日（火）13：30～15：30

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. ワーキンググループ（デジタル画像の公開・保存）の設置について
2. 画像データベースならびにマイクロ／デジタル・和古書目録の現状について

【報告事項】

1. 図書資料委員会報告

第 3 回 平成 21 年 8 月 27 日（木）15：30～17：10

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. 今年度デジタル化を行う他機関および館蔵資料について
2. CD「和書のさまざま」の出版代表者について
3. 規程の改正について

【報告事項】

1. 館蔵および他機関のデジタル画像公開の基本方針 WG 中間報告

第 4 回 平成 21 年 10 月 6 日（火）10：30～11：25

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 館蔵および他機関のデジタル画像公開の基本方針について（WG 報告）

【報告事項】

1. 図書資料委員会報告

第5回 平成22年1月28日（木）10：30～11：50

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 画像の保存管理方法について（画像の保存管理方法検討ワーキンググループ報告）

【報告事項】

1. 図書資料委員会報告

12. 将来計画委員会

委員：鈴木 淳	副館長
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
寺島 恒世	文学資源研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
渡辺 浩一	アーカイブズ研究系教授
齋藤 真麻理	文学形成研究系准教授
陳 捷	アーカイブズ研究系准教授
入口 敦志	文学資源研究系助教
加藤 聖文	文学資源研究系助教
久保木 秀夫	文学資源研究系助教
岡崎 省二	管理部長
添田 勉	総務課長
佐々木 隆憲	財務課長
新馬場 正人	学術情報課長

平成21年度開催状況：

第1回 平成21年4月7日（火）15：00～17：00

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 第二期中期目標期間における研究実施体制について

第2回 平成21年6月25日（木）10：30～12：00

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 第二期中期目標期間における教員の研究領域について

第3回 平成21年7月29日(木) 13:30~15:00

場 所 第1会議室

【審議事項】

1. 第二期中期目標期間における教員の研究領域について

第4回 平成21年10月1日(木) 13:30~15:00

場 所 第1会議室

【審議事項】

1. 第二期中期目標期間における教員の研究領域について

第5回 平成21年10月20日(木) 13:30~15:00

場 所 第1会議室

【審議事項】

1. 第二期中期目標期間における教員の研究領域について

第6回 平成21年11月5日(木) 16:00~17:30

場 所 第1会議室

【審議事項】

1. 第二期中期目標期間における教員の研究領域について

13. 研究戦略委員会

委員：鈴木 淳	副館長
伊藤 鉄也	文学形成研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
小林 健二	文学資源研究系教授
寺島 恒世	文学資源研究系教授
古瀬 蔵	複合領域研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
青木 睦	文学形成研究系准教授
青田 寿美	複合領域研究系准教授
井田 太郎	文学形成研究系助教
添田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆憲	管理部財務課長

平成21年度開催状況：

第1回 平成21年4月21日(火) 15:30~16:20

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 副委員長の選出について
2. 科学研究費補助金について
3. 総合推進事業について

【報告事項】

1. 寄附金の受入れについて

第2回 平成21年6月4日（木）15：30～16：40

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 科研費審査結果開示資料について
2. 研究推進奨励制度（仮称）の創設について
3. 科学研究費補助金説明会について

第3回 平成21年7月2日（木）11：00～11：45

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 研究推進支援制度の創設について

【報告事項】

1. 科学研究費補助金説明会について

第4回 平成21年10月6日（火）15：30～16：55

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 平成22年度科学研究費補助金の申請計画について

【報告事項】

1. 科学研究費補助金説明会について

14. 大学院教育委員会

委員：鈴木 淳	副館長
伊藤 鉄也	文学形成研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系教授
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
中村 康夫	日本文学研究専攻長
山崎 誠	文学形成研究系教授
渡辺 浩一	アーカイブズ研究系教授
青木 睦	文学形成研究系准教授
落合 博志	文学資源研究系准教授
添田 勉	管理部総務課長

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 4 月 28 日（火）13：30～14：30

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 21 年度特別共同利用研究員の受入について
2. 平成 21 年度特別共同利用研究員オリエンテーションについて

第 2 回 平成 22 年 1 月 21 日（木）15：30～16：20

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 21 年度研究指導報告書・研究報告書について
2. 平成 22 年度特別共同利用研究員の受入要項・ポスター（案）等について
3. 特別共同利用研究員のホームページ掲載文（案）について

15. 調査収集計画委員会

委員：鈴木 淳	副館長
伊藤 鉄也	文学形成研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系教授
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
寺島 恒世	文学資源研究系教授
渡辺 浩一	アーカイブズ研究系教授
青田 寿美	複合領域研究系准教授
落合 博志	文学資源研究系准教授
齊藤 真麻理	文学形成研究系准教授
陳 捷	アーカイブズ研究系准教授
相田 満	アーカイブズ研究系助教
入口 敦志	文学資源研究系助教
久保木 秀夫	文学資源研究系助教
添田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆憲	管理部財務課長
新馬場 正人	管理部学術情報課長

16. 図書資料委員会

委員：中 村 康 夫	文学形成研究系教授
山 崎 誠	文学資源研究系教授
山 下 則 子	文学形成研究系教授
青 田 寿 美	複合領域研究系准教授
落 合 博 志	文学資源研究系准教授
山 田 哲 好	アーカイブズ研究系准教授
入 口 敦 志	文学資源研究系助教
江 戸 英 雄	文学形成研究系助教
久保木 秀 夫	文学資源研究系助教

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 6 月 2 日（火）13：30～14：50

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. コレクションの指定について
2. 松野陽一氏資料寄託申し込み（追加）について
3. 平成 21 年度図書購入計画について
4. 図書の選定について

【報告事項】

1. 図書資産の除籍について
2. 平成 20 年度受入和古書・近代原本一覧

第 2 回 平成 21 年 7 月 2 日（木）13：30～15：00

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. 貴重書の指定について
2. 資料受託の更新について（陸奥国福島板倉家文書）
3. 明治古典会七夕大入札会資料の選定について
4. 図書の選定について

第 3 回 平成 21 年 9 月 16 日（木）13：30～15：15

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 貴重書の指定について
2. 妹尾則治氏（伊勢物語）の寄託更新について
3. 図書の選定について

第4回 平成21年10月15日(木) 13:30~14:20

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 図書購入予算区分の見直しについて
2. 図書の選定について

第5回 平成21年11月10日(火) 13:30~15:30

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 平成22年度事業計画(図書購入費)について
2. 図書の選定について

第6回 平成21年12月17日(木) 10:30~12:00

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 貴重書指定について
2. 図書の選定について

第7回 平成22年1月28日(木) 13:30~15:15

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 特別コレクション関根本の名称について
2. 図書の選定について

第8回 平成22年3月23日(火) 10:30~12:00

場 所 第2会議室

【審議事項】

1. 図書の選定について

17. 評価委員会

委員：鈴木 淳	副館長
伊藤 鉄也	文学形成研究系教授
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
寺島 恒世	文学資源研究系教授
渡辺 浩一	アーカイブズ研究系教授
落合 博志	文学資源研究系准教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系准教授
岡崎 省二	管理部長

添 田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆 憲	管理部財務課長
新馬場 正 人	管理部学術情報課長

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 5 月 26 日（火）15：40～17：00

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 評価委員会委員長の交替について
2. 第 2 期中期目標・中期計画（案）について
3. 実施状況（案）について
4. 全体的な状況（案）について
5. 特記事項（案）について
6. 第 1 期中期目標・中期計画期間評価の総括について

第 2 回 平成 21 年 12 月 10 日（木）13：30～14：50

場 所 第 1 会議室

【審議事項】

1. 平成 20 年度に係る業務の実績に関する評価結果について
2. 人間文化研究機構評価委員会作業部会（第 1 回）について
3. 人間文化研究機構第二期中期目標・中期計画検討委員会について

18. 知的財産委員会

委員：伊 藤 鉄 也	文学形成研究系教授
山 崎 誠	文学資源研究系教授
山 下 則 子	文学形成研究系教授
渡 辺 浩 一	アーカイブズ研究系教授
野 本 忠 司	複合領域研究系准教授
山 田 哲 好	アーカイブズ研究系准教授
相 田 満	アーカイブズ研究系助教
井 田 太 郎	文学形成研究系助教
加 藤 聖 文	文学資源研究系助教
添 田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆 憲	管理部財務課長
新馬場 正 人	管理部学術情報課長

19. 施設マネジメント委員会

委員：鈴木 淳	副館長
伊藤 鉄也	文学形成研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系教授
高橋 実	アーカイブズ研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授
渡辺 浩一	アーカイブズ研究系教授
青木 睦	文学形成研究系准教授
江戸 英雄	文学形成研究系准教授
北村 啓子	複合領域研究系助教
前川 佳遠理	アーカイブズ研究系助教
岡崎 省二	管理部長
添田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆憲	管理部財務課長
新馬場 正人	管理部学術情報課長

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 5 月 14 日（木）12：50～13：20

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 20 年度における施設の点検評価の報告について
2. 施設使用現状総括報告書について（平成 20 年度）
3. 施設改修・保全計画書について（平成 21 年度）

第 2 回 平成 21 年 6 月 17 日（水）13：00～13：25

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 20 年度における施設の点検評価の報告について
2. 施設使用現状総括報告書について（平成 20 年度）
3. 施設改修・保全計画書について（平成 21 年度）

第 3 回 平成 21 年 7 月 16 日（木）10：30～

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 助教室の個室化について

第 4 回 平成 21 年 9 月 29 日（火）13：30～

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 21 年度建物新営設備費（共有諸室の備品等整備）の執行計画について
2. 3 機関において今後検討が必要なもの

第 5 回 平成 21 年 11 月 12 日（木）13：00～13：25

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 複写機の増設について

第 6 回 平成 22 年 2 月 17 日（水）11：00～12：00

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 平成 21 年度施設の点検評価について
2. 平成 22 年 4 月以降の研究プロジェクト室等の配置について

20. 衛生委員会

委員：添 田 勉	管理部総務課長
畑 三枝彦	産業医
市 場 なつき	管理部財務課契約係員
後 藤 和 彦	管理部総務課人事係長
久保木 秀 夫	文学資源研究系准教授
午 頭 慎 治	管理部総務課総務係員
小 島 歩	管理部学術情報課図書情報係員

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 4 月 16 日（木）14：00～

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 衛生委員会委員について
3. 法定点検、設備業務等について
4. 衛生委員会の今年度の活動について
5. 研修会について
6. 次回の開催について
7. その他

第 2 回 平成 21 年 5 月 14 日（木）16：00～

場 所 第 4 会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について

2. 法定点検、設備業務等について
3. 研修会について
4. 次回の開催について
5. その他

第3回 平成21年6月18日（木）16：00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 研修会について
4. 次回の開催について
5. その他

第4回 平成21年7月30日（木）16：00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 研修会について
4. 定期健康診断の実施について
5. 次回の開催について
6. その他

第5回 平成21年9月17日（木）16：00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 次回の開催について
4. その他

第6回 平成21年10月22日（木）16：00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 次回の開催について
4. その他

第7回 平成21年11月26日(木) 16:00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 次回の開催について
4. その他

第8回 平成21年12月24日(木) 16:00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 次回の開催について
4. その他

第9回 平成22年1月28日(木) 16:00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 次回の開催について
4. その他

第10回 平成22年2月25日(木) 16:00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 次回の開催について
4. その他

第11回 平成22年3月11日(木) 16:00～

場 所 第4会議室

【審議事項】

1. 前回衛生委員会議事要旨の確認について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 今年度労働衛生関係実績報告について
4. 次回の開催について
5. その他

21. 賛助会運営委員会

委員：星 野 紘一郎	元岩波書店編集者
鈴 木 淳	副館長
大 友 一 雄	アーカイブズ研究系教授
大 高 洋 司	文学資源研究系教授
小 林 健 二	文学資源研究系研究主幹
武 井 協 三	文学形成研究系研究主幹
谷 川 恵 一	複合領域研究系研究主幹
高 橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
寺 島 恒 世	文学資源研究系教授
中 村 康 夫	文学形成研究系教授
古 瀬 蔵	複合領域研究系教授
岡 崎 省 二	管理部長
添 田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆 憲	管理部財務課長
新馬場 正 人	管理部学術情報課長

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 6 月 3 日（水）13：30～14：30

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 第 2 回日本古典文学学術賞について
2. 日本古典文学学術賞選考委員会からの申し送り事項について
3. 第 2 回日本古典文学学術賞授賞式について

【報告事項】

1. 寄付者について（前回委員会以降）

平成 21 年度開催状況：

第 2 回 平成 22 年 3 月 19 日（金）15：00～16：00

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 日本古典文学学術賞選考委員会委員について
2. 第 3 回日本古典文学学術賞について

【報告事項】

1. 寄付者について

22. 情報セキュリティ委員会

委員：鈴木	淳	副館長
古瀬	蔵	電子情報事業部長
添田	勉	管理部総務課長
佐々木	隆 憲	管理部財務課長
新馬場	正 人	管理部学術情報課長

平成 21 年度開催状況：

第 1 回 平成 21 年 6 月 24 日（水） 13：30～

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. 情報セキュリティポリシーについて
2. ネットワーク接続の例外措置申請

【報告事項】

1. 検疫システム導入について
2. サイボウズによる超勤管理について

第 2 回 平成 22 年 3 月 19 日（金）13：30～

場 所 第 2 会議室

【審議事項】

1. セキュリティ対応状況
2. ネットワーク接続申請書
3. 端末等の館外利用届出書
4. USB 型データ通信端末貸出し申請及び借用書
5. 端末調査

23. 情報公開委員会

委員：今 西	祐一郎	館長
鈴木	淳	副館長
小林	健 二	文学資源研究系研究主幹
武井	協 三	文学形成研究系研究主幹
高橋	実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷川	恵 一	複合領域研究系研究主幹
大友	一 雄	学術企画連携部長
古瀬	蔵	電子情報事業部
寺島	恒 世	調査収集事業部長
山下	則 子	情報資料サービス事業部長

中 村 康 夫	日本文学研究専攻長
大 高 洋 司	文化科学研究科長
岡 崎 省 二	管理部長
添 田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆 憲	管理部財務課長
新馬場 正 人	管理部学術情報課長

24. 人権委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
鈴 木 淳	副館長
大 高 洋 司	文学資源研究系教授
古 瀬 蔵	複合領域研究系教授
山 崎 誠	文学資源研究系教授
山 下 則 子	文学形成研究系教授
青 木 睦	文学形成研究系准教授
青 田 寿 美	複合領域研究系准教授
北 村 啓 子	複合領域研究系助教
岡 崎 省 二	管理部長
添 田 勉	管理部総務課長

25. ハラスメント防止委員会

委員：鈴 木 淳	副館長
添 田 勉	管理部総務課長
谷 川 恵 一	複合領域研究系研究主幹
齋 藤 真麻理	文学形成研究系准教授
佐々木 隆 憲	管理部財務課長
高 島 津 雪	管理部学術情報課情報サービス第1係長

26. 危機管理委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
鈴 木 淳	副館長
小 林 健 二	文学資源研究系研究主幹
武 井 協 三	文学形成研究系研究主幹
高 橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷 川 恵 一	複合領域研究系研究主幹

大友 一雄	学術企画連携部長
古瀬 蔵	電子情報事業部
寺島 恒世	調査収集事業部長
山下 則子	情報資料サービス事業部長
中村 康夫	日本文学研究専攻長
大高 洋司	文化科学研究科長
岡崎 省二	管理部長
添田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆憲	管理部財務課長
新馬場 正人	管理部学術情報課長

27. 研究倫理委員会

委員：今西 祐一郎	館長
鈴木 淳	副館長
小林 健二	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
大友 一雄	学術企画連携部長
古瀬 蔵	電子情報事業部長
寺島 恒世	調査収集事業部長
山下 則子	情報資料サービス事業部長
中村 康夫	日本文学研究専攻長
大高 洋司	文化科学研究科長
岡崎 省二	管理部長
添田 勉	管理部総務課長
佐々木 隆憲	管理部財務課長
新馬場 正人	管理部学術情報課長



運営会議委員・幹部職員一覧

1. 運営会議委員（五十音順）

※職名は平成21年4月1日現在のもの

（館 外）

朝 岡 康 二	国立歴史民俗博物館名誉教授
浅 野 秀 剛	（財）大和文華館館長
揖 斐 高	成蹊大学文学部教授
岡 崎 久 司	九州大学客員教授
工 藤 眞由美	大阪大学大学院文学研究科教授/大学教育実践センター長
小 島 孝 之	成城大学文芸学部教授
十 川 信 介	（財）日本近代文学館副理事長
名 和 修	（財）陽明文庫長
平 野 由紀子	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授
ヘルベルト・プルチョウ	城西国際大学国際人文学部長
松 尾 正 人	中央大学文学部教授

（館 内）

大 高 洋 司	文学資源研究系教授
大 友 一 雄	アーカイブズ研究系教授
小 林 健 二	文学資源研究系研究主幹
鈴 木 淳	副館長
高 橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
武 井 協 三	文学形成研究系研究主幹
谷 川 恵 一	複合領域研究系研究主幹
寺 島 恒 世	文学資源研究系教授
中 村 康 夫	文学形成研究系教授
古 瀬 蔵	複合領域研究系教授

2. 幹部職員一覧

館 長	今 西 祐一郎
副館長	鈴 木 淳
館長補佐	谷 川 恵 一
管理部長	岡 崎 省 二

総務課長	添 田 勉
財務課長	佐々木 隆 憲
学術情報課長	新馬場 正 人
文学資源研究系研究主幹	小 林 健 二
文学形成研究系研究主幹	武 井 協 三
複合領域研究系研究主幹	谷 川 恵 一
アーカイブズ研究系研究主幹	高 橋 実



大学院教育（平成 21 年度）

1. 総合研究大学院大学について

【概 要】

本年度の総研大日本文学研究専攻では、11 月に申請のあった課程博士 2 名（3 期生 1 名・4 期生 1 名）および論文博士 1 名の学位論文本審査を行い、1 月の公開発表会、2 月 26 日の文化科学研究科教授会の審議を経て、3 名は 3 月 23 日に博士号を授与された。

7 期生の受入（3 名入学）を行い、合計 10 名（ほか 2 名休学）の正規生の教育研究を行った。また、10 月から研究生 1 名（留学生）の受入を行った。

6 期生、7 期生の中間報告論文研究発表会（12 月）を行うとともに、中間報告論文の審査を行い、全員を合格と判定した。

来年度の入学者選抜を行い、8 期生 2 名が合格した。

4 月から 2 名、10 月から 1 名の新たな担当教員が着任した。

文化科学研究科スチューデント・イニシアティブ事業に積極的に参加し、重要な役割を分担した。

1 日本文学研究専攻の運営

専攻の全般にわたる運営は、専攻長の元に置かれた専攻委員会において行っている。専門的な事項については、専攻委員会の下に教育研究委員会及び入学者選抜委員会を置いて審議している。

文化科学研究科全体の運営に対しては、毎月定例で開催される専攻長会議において重要な案件の審議を行っている。また、文化科学研究科レフェリージャーナル（「総研大文化科学研究」）編集委員会に編集委員を派遣している。

総合研究大学院大学全体の運営に対しては、総研大本部の教育研究評議会に専攻長が出席している。

本年度は、4 月から 2 名（青木睦准教授、相田満助教）、10 月から 1 名（今西祐一郎教授）が新たな担当教員として着任した。

本年度も、スチューデント・イニシアティブ事業への参加、日本文学研究専攻特別講義の実施などを通じて、他専攻や他機関との教育研究の交流と連携の促進を図っている。

2 総合研究大学院大学及び文化科学研究科における活動

（1）総合研究大学院大学教育研究評議会

本年度は定例で 3 回開催され、委員として専攻長が出席した。

（2）文化科学研究科教授会

本年度は定例で 2 回開催され、構成員である担当教員が出席した。

（3）文化科学研究科専攻長会議

TV 会議方式と対面方式の両方により、毎月定例で開催された。（通算 12 回）

（4）第 1 期中期目標期間評価結果への対応

第1期中期目標期間評価結果の確定作業を行った。

3 教育研究指導

教育研究指導分野として4分野をたて、授業科目数23科目、23名の担当教員により日常的な指導を行った。学生数は3期生4名、4期生2名、5期生3名、6期生1名、7期生3名の合計12名（休学者2名含む）、加えて、10月からの研究生1名である。

学生の教育研究指導については、主任指導教員が責任者となり、2名の副指導教員と共に、きめ細かに対応している。学生の学位論文の課題に応じて、基盤機関及び外部の研究会、学会に参加させるなど、より高度な専門教育研究指導を行っている。

本年度は、前・後学期を通じて14科目が開講され、単位認定を行った。中間報告論文研究発表会は12月2日に行われ、6期生1名、7期生3名が発表、講評を行った。これを受けて提出された中間報告論文は、審査の結果、全員が合格となった。

また、本年度は予備審査に合格した3期生及び4期生各1名による課程博士の申請および論文博士1名の申請（11月）を受けて、1月に学位論文本審査・公開発表会を行い、2月26日の文化科学研究科教授会の審議を経て、3名は3月23日に博士号が授与された。

これにより、本年度、日本文学研究専攻からは2名が課程博士、1名が論文博士の認定を受けた。

総研大の学生派遣事業で4名の学生（のべ5回）を国内外に派遣した。

10月17日・18日の日程で、国立民族学博物館にて、文化科学研究科の学生企画委員会を中心として文化科学研究科学術交流フォーラム「極限の文化一人はどこで生きているか 生きられるかー」が開催され、日本文学研究専攻からは学生企画委員2名が企画運営に関わったのを始め、専攻教員9名、学生5名が参加した。18日のシンポジウムでは寺島恒世教授が報告を行った。また、教員・学生によるポスターセッションも行われ、教員2名、学生3名が発表を行った。

4 専攻委員会

専攻委員会は日本文学研究専攻の担当教員23名で構成し、教育研究指導、学事処理、文化科学研究科・葉山本部への対応等、日本文学研究専攻の運営に全責任を負っている。専門委員会である教育研究委員会、入学者選抜委員会等の議を経た事項等を諮るため定例で行われ、本年度は11回開催した。

5 教育研究委員会の活動

教育研究委員会（委員9名、委員長 山下則子教授）は、日常的な学生の教育研究を指導・推進するために開催している。本年度は11回開催した。

（1）カリキュラム

教員入れ替わりに対応するため、カリキュラムの改訂を行った。

（2）講義

学生が教育研究指導を受ける科目時間割の設定、科目の確定とシラバスのとりまとめ、履修計画の決定などを行い、前・後学期の講義を実施し（全14科目）、講義科目ごとの成績を厳正に評価し、単位を認定した。また、学年末に最終的な成績評価を決定し、専攻委員会において学生の取得単位を確定した。

（3）中間報告論文

12月2日、中間報告論文研究発表会（公開）を開催し、6期生1名、7期生3名が発表を行い、

指導教員からの講評に続いて活発な質疑が行われた。学生は発表に基づいて中間報告論文をとりまとめ、2月に提出、3名の指導教員による審査を経て合否判定を行い、最終的に専攻委員会で全員合格と判定した。

(4) 学位論文審査

本年度は、5月に申請のあった課程博士4名(3期生2名・4期生1名・5期生1名)および7月に申請のあった論文博士3名の学位論文予備審査を行い、課程博士2名(3期生1名・4期生1名)、論文博士1名が合格した。合格した3名より11月に学位論文本審査に申請があり、論文審査、1月の公開発表会、2月26日の文化科学研究科教授会の審議を経て、3名は3月23日に博士号を授与された。

(5) 教育研究資源の充実

学生の意思を汲み上げながら、基本及び専門図書並びに学術誌の選定・充実につとめた。

6 入学者選抜委員会の活動

入学者選抜委員会(委員8名、委員長 伊藤鉄也教授)は、広く学生を募集するための方策を検討、可能な限り実施し、また、次年度の入学者選抜を行った。本年度は6回開催した。

(1) 募集要項の作成と配布

平成23年度の入学者の募集要項を作成し、配布すると同時に多面的な広報を行った。

(2) 広報活動

- ① 入試説明会及び入学者募集のポスターをそれぞれ作成し、全国の大学・公共図書館等約200件に掲示を依頼した。
- ② 入試説明会及び入学者募集のチラシを作成して、国文学研究資料館の各種行事参加者に配布し、周知に努めた。また、教員が参加する学会などでも配布した。
- ③ 多摩都市モノレールの主要8駅に入試説明会及び入学者募集ポスターの掲出を2ヶ月間行った。
- ④ インターネットを利用した、Googleの検索エンジン連動広告を行った。

(3) 大学院入試説明会

10月10日に国文学研究資料館において大学院入学試験説明会を実施した。本年度は、国文学①専攻についての説明(専攻長) ②入試についての説明(入学者選抜委員長) ③総研大の施設案内 ④現役院生との懇談 ⑤特別展示の観覧(ギャラリートーク含む) ⑥特別講義(今西館長)の聴講 ⑦専攻担当教員の研究室訪問を行った。参加者は8名であった。

(4) 入学者選抜試験の実施

平成22年度の入学者選抜試験を実施した。5名の出願者があり、第1次試験(論文審査)では、1名の出願者について3名の委員が審査を行い、4名を合格と判定した。第2次試験(面接試験)では、第1次試験の合格者4名に対して、8名の面接官による面接を行い、2名を合格と判定した。その結果は文化科学研究科専攻長会議で承認された。辞退者はなく、2名が入学することとなった。

(5) 研究生の受入

本年度は10月から研究生1名(留学生・インド)の受入を行った。

7 研究科・葉山本部などへの対応

(1) スチューデント・イニシアティブ関連

学生企画委員2名を中心に、専攻長会議・学生企画委員会と連携しながら、文化科学研究科学術交流フォーラム（10月17日・18日開催）の企画・推進に積極的に協力した。

（2）「総研大文化科学研究」編集委員会

レフェリージャーナル「総研大文化科学研究」第6号の発刊に向け、編集委員の伊藤鉄也教授を中心に原稿の募集及びレフェリーによる査読などを実施した。本専攻からは、大野順子氏の論文および張培華氏の研究ノートが採択・掲載された。

（3）評価委員会

12月に評価委員会（委員7名、委員長 大友一雄教授）を開催し、第1期中期目標期間評価結果の確定作業を行った。

8 広報活動

入学者選抜委員会を中心に、ポスター、チラシ、基盤機関のホームページ、専攻概要、入試説明会等を通じて広報に努めている。また「国文学研究資料館ニュース」に専攻の欄を設けて、様々な実績をアピールしている。

9 教育研究プロジェクト

担当教員が学会、研究会、外部の所蔵機関の資料調査に学生を同行することを通じて、研究指導を行った。

10 日本文学研究専攻特別講義

本年度も引き続き、本専攻独自の事業として特別講義を2回開催した。

第1回特別講義（7月21日開催）

①「江戸漢詩史再考－格調詩に盛り込めるもの」宮崎 修多 成城大学文芸学部教授

②「私説・書誌学のすすめ」佐々木 孝浩 慶応義塾大学附属研究所所道文庫准教授

第2回特別講義（10月10日開催）

「本文」を読むということ」今西 祐一郎 教授

11 スチューデント・イニシアティブ事業

文化科学研究科では、研究科の学生に、先導的で国際的に活躍できる高度な専門的知識及び学力を取得させると共に、関連諸分野と有機的に連動できる、創造性豊かで優れた専門応用能力を涵養する目的で、スチューデント・イニシアティブ事業を実施している。本専攻の事業実績は以下のとおりである。

（1）専門研究推進事業群

①「総研大文化科学研究」刊行事業

・レフェリージャーナル「総研大文化科学研究」第6号に、大野順子氏の論文および張培華氏の研究ノートが掲載された。

② 学生派遣事業

・4名の学生（のべ5件）を国内外に派遣した。（国内外調査活動学生派遣事業1件、国内外研究成果発表学生派遣事業4件）

（2）横断連携推進事業群

① 文化科学研究科学術交流フォーラム事業

文化科学研究科学術交流フォーラム（10月17日・18日）が開催され、本専攻の教員9名、学生5名が参加した。18日のシンポジウムでは寺島恒世教授が報告を行った。また、教員・学生によるポスターセッションも行われ、教員2名、学生3名が発表を行った。

② 学生企画委員事業

学生企画委員2名（張培華氏・陳可冉氏）が、文化科学研究科学術交流フォーラムの企画・運営を中心に、事業の推進に積極的に協力した。

③ 教員学生連携研究事業

教員学生連携研究事業として、「日本中世・近世の地誌と風俗」（代表者 大高洋司教授）が採択され、本専攻の教員2名、学生1名が参加した。

12 施設・設備の整備

日本文学研究専攻には、院生室、院生図書室、学生談話室（学習・懇談・会議など多目的に利用）、講義室（3室）、専攻長室が割り振られている。本年度も各施設・設備の一層の整備につとめた。

13 予算

総研大からの専攻運営費ですべてを賄っており、外部資金は得ていない。

2. 特別共同利用研究員について

【特別共同利用研究員制度】

特別共同利用研究員制度とは、大学の要請に応じ、大学院における教育に協力するため、学生を受入れて研究指導を行う制度である。

当館では、昭和54年度から大学院教育協力制度を発足させ、大学院生の受入れを開始し、平成10年度に特別共同利用研究員制度に改めて、受入れの拡充を図った。

受入人員は毎年10名程度で、受入対象者は大学院に在籍し、日本文学、歴史学及びこれらに関連する分野を専攻する者である。受入期間は1年間。

【受 入】

平成21年度は、2大学から4名の申込みがあり、平成21年4月28日に開催した第1回大学院教育委員会の審議を経て、館長が4名の受入れを許可した。

受入者の大学、課程、分野等は下記のとおりである。

大学別 国立大学2校、4名

課程別 博士前期（修士）課程3名

博士後期（博士）課程1名

分野別 国文学関係1名

歴史学関係3名

【オリエンテーション】

平成21年度特別共同利用研究員オリエンテーションは、平成21年5月20日に開催し、特別共同利用研究員（以下「研究員」という）及び指導教員の自己紹介、引き続き「特別共同利用研究員のし

おり」に基づき、各事務担当者から研究員制度における事務手続きや当館資料閲覧利用等に関する説明を行い、最後に研究員と指導教員が研究計画等の打ち合わせを行った。

【研究修了】

研究修了に伴い、研究員から研究報告書、指導教員から研究指導報告書が提出され、平成 22 年 1 月 21 日に開催した第 2 回大学院教育委員会で、これらの報告書に基づき個別に審査した結果、研究員 4 名が修了者として認定された。

これを受けて、研究員に「研究修了証明書」を、所属大学の研究科長に「特別共同利用研究員研究指導修了通知書」を送付した。

【次年度の募集】

平成 22 年度特別共同利用研究員の募集要項、ポスター等は、これまで同様の内容で作成し、全国の大学院に郵送した。



総務・財務

1. 総 務

(1) 組織改組について

第二期中期目標・中期計画に向けて、柔軟で効率的な研究体制へ改組する案を検討した。また、学術情報課の組織改正を行い、業務運営の改善を図った。

(2) 自己点検・評価について

平成 21 年度は、外部委員を構成員に含む各種委員会において、自己点検・評価を行うとともに、委員会では出された意見を汲み上げ、当館の運営の改善に努めた。

(3) 事務の合理化について

平成 20 年度に引き続き、会議室の管理をグループウェアで行い、電子メールや館内専用ホームページの活用により、業務の効率化、情報共有の迅速化・効率化に努めた。また、検疫システムを導入し、業務効率を維持しながらセキュリティの強化を図った。

(4) 職員の適正配置について

① 職員配置計画

管理部内では、職員を配置換えし、業務運営の更なる改善を図った。

② 事務職員・技術職員の選考・採用・人事交流状況

平成 21 年度においては、人事の活性化を図るため、学芸大学より 4 月 1 日付けで 1 名、一橋大学より 7 月 1 日付けで 1 名の人事交流を行った。

(5) 外部資金による任期付き採用について

科学研究費補助金による研究支援者を平成 21 年 4 月 1 日に 2 名、5 月 1 日に 1 名、7 月 1 日に 1 名採用した。

(6) 職員の研修について

職務に対する理解を深めるとともに、職員の業務遂行能力の向上及び当館での業務だけでは得難い知識の取得をさせることにより優秀な人材を育成するため、国立大学協会等外部機関が主催する研修会へ積極的に参加させた。

(7) 超過勤務の管理について

引き続き、月 2 回開催の管理部連絡会議において、超過勤務縮減のため各課・系の業務内容、分担等の見直し及び業務の効率化について繰り返し要請を行った。

また、毎週水曜日を「定時退館日」、金曜日を「早期退館日」と定め、職員に周知することにより超過勤務の縮減を図るとともに、引き続き超過勤務を行う場合には、各職員が超過勤務の理由及び必要時間数を担当課長に申告し、担当課長が緊急性等を判断し、場合によっては時間数の短縮又は通常時間内に処理するよう指導の上、真に必要な時間数を命ずることとした。

(8) 職員の福利厚生について

・「肩こり腰痛及び VDT ストレッチセミナー」をテーマに外部講師を招き職員を対象とし、勤

務中の疲労回復及び心身のリフレッシュのための研修会を実施した。

- ・年1回の健康診断の実施のほか、引き続き職員の人間ドッグ受診時の費用を一部負担するなど、職員の健康の保持増進に努めた。
- ・レクリエーション事業として、バドミントン大会、ボウリング大会を行ったことにより職員間の交流及び心身のリフレッシュを図るなど福利厚生の実施に努めた。

(9) 研究プロジェクトについて

研究プロジェクト発表会を月1回開催し、各プロジェクトの進捗状況を定期的に公表するとともに事務連絡の場を設け、教員、事務双方とも情報の共有化を図った。

(10) 研究連携について

① 人間文化研究機構内での連携研究

機構内を構成する各機関の連携協力を推進するため、当館においても積極的に機構内連携研究等に取り組んだ。

「文化の往還」(日本とユーラシアの交流に関する総合的研究)では、11月に国文学研究資料館において国際ワークショップ「ユーラシアと日本—時計と時間をめぐる比較文化—」を開催した。時計の登場と普及によってもたらされた時間をめぐる人間の営みの変容について、時計というモノに則しつつ、比較文化的視点から議論した。発表者の専門分野は、文学や文化人類学などの人文科学に加え、科学史、時間生物学、建築学、スポーツ科学などの自然科学を含み、国籍も日本以外に韓国、中国、ドイツに及んでいる。また、専門とする研究地域も、日本のほかフランス、ドイツ、モンゴル、ベトナム、中国、韓国などに広がっており、領域横断的なディスカッションが実現した。その結果、西洋世界の時間が時計とともに非西洋世界と接触したとき、それは、在地の時刻制度のあり様を改変したが、身体感覚のレベルにおいては、固有の時間意識というものが持続しているということを確認した。

国際連携協力促進活動として、「人間文化研究資料の多元的複眼的比較研究」と「日蘭文化交流をめぐる在外資料の調査研究」により、国内外の研究者による研究会及び国内外で国際シンポジウムを開催した。

② 科学研究費補助金等における連携状況

科学研究費補助金による研究活動においても、研究の目的上国内外の当館以外の研究者との連携が不可欠な課題があり、有意義且つ効果的な連携研究が行われている。

- ・基盤研究(A)「日本文学の国際的共同研究基盤の構築に関する調査研究」

研究代表者：伊藤鉄也 研究期間：平成18～21年度

- ・基盤研究(A)「五山版を中心とする中世刊本の研究—中世出版史の再構築に向けて」

研究代表者：落合博志 研究期間：平成19～22年度

- ・基盤研究(A)「日本古典籍総合目録における隣接領域の受容拡充と検索機能の整備のための研究」

研究代表者：鈴木淳 研究期間：平成20～23年度

- ・基盤研究(A)「日本文学における言説編成機能に関する日仏共同研究」

研究代表者：谷川恵一 研究期間：平成21～24年度

- ・基盤研究(A)「スペンサーコレクション絵入り本解題目録作成のための総合的調査研究」

研究代表者：小林健二 研究期間：平成21～25年度

- ・基盤研究(B)「和漢古典学のオントロジモデルの応用」

研究代表者：相田満 研究期間：平成19～22年度

- ・基盤研究 (B)「文学・芸能・絵画をめぐる近世的表現様式と知の交流の研究」

研究代表者：山下則子 研究期間：平成 21～25 年度

- ・若手研究 (S)「海外引揚問題と戦後東アジアの地域変動に関する国際的総合研究」

研究代表者：加藤聖文 研究期間：平成 21～25 年度

(11) 研究者の交流について

① 客員教員

当館の研究プロジェクトへの参加を条件として採用を行うこととし、各研究系内において適任者を選考の上、研究主幹が研究業績等を記入した選考調書を作成し、その選考調書に基づき、研究系会議において選考及び客員教授及び客員准教授の称号付与について協議の上、主幹・部長会議の議を経て、館長が決定することとした。

- ・平成 21 年度の採用状況 教授 2 人、准教授 5 人

(所属別 公立大学 1 人、私立大学 4 人、外国人研究員 2 人)

- ・平成 22 年度の採用計画 教授 3 人、准教授 2 人

(所属別 国立大学 2 人、公立大学 1 人、民間団体 1 人、外国人研究員 2 人)

② 機関研究員

高度な研究能力を持つ若手研究者の養成及び研究プロジェクト等の推進を図るため、客員教員に準じた選考方法により各研究系に 1 人を配置している。

③ 日本学術振興会特別研究員

優れた若手研究者に、研究の場等を提供し、研究に専念する機会を与えるため、当館においても積極的に受入れることとし、平成 21 年度においては、継続 1 人に対し、研究指導を行った。

その他、当館との学術交流の可能性を探るため高麗大学校日本研究センターとの間における研究者交流や、私費、外部資金及び他機関等からの経費負担による研究者（外来研究員制度）についても積極的に受け入れており、平成 21 年度は 8 人（内外国人 6 人）を外来研究員として受け入れた。

(12) 外部資金について

当館の研究内容は、受託研究、民間等との共同研究等にはなじみにくい分野であり、競争的研究資金の獲得としては、科学研究費補助金、財団等が募集する研究助成金、その他の奨学寄附金を積極的に受け入れている。

平成 17 年度から、引き続き、研究戦略委員会において、外部資金獲得のための手段を講ずるとともに、競争的研究資金の募集情報を館内専用のホームページに掲載するなど、広く職員に周知を図った。

平成 21 年度外部資金受入状況

① 科学研究費補助金

19 件 直接経費 76,600 千円、間接経費 22,410 千円 合計 99,010 千円

この他に、当館が経理する分として、

研究成果公開促進費（データベース）	2 件	4,700 千円
研究成果公開促進費（学術図書）	3 件	6,800 千円
特別研究員奨励費	1 件	700 千円

があり、総額は111,210千円となっている。

② 寄附金 2件 910千円

なお、科学研究費補助金については、教員、事務職員等を対象に、日本学術振興会から講師を招いて説明会を開催するなど、ルールへの理解と遵守及びルール違反・不正使用のペナルティなどについて周知を図った。

(13) リサーチアシスタントについて

若手研究者育成の観点から、当館においてもリサーチアシスタントを採用することとし、各研究系に3人を上限とする枠を設け配置している。

採用に当たっては、各研究系が実施する研究プロジェクト（共同研究型を含む）への参加補助を条件としており、選考手続きは、各研究系内で適任者を検討し、学生（候補者）及び所属大学の主任指導教授から内諾を得て、研究主幹が選考調書を作成し、研究系会議及び主幹・部長会議の議を経て、館長が決定している。

・平成21年度の採用状況 11人

（所属別 国立大学5人、私立大学6人）

（研究分野別 国文学系8人、歴史学系3人）

うち、当館が基盤機関である総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻の学生は3名。

研究プロジェクトに参画させ、研究活動の効果的推進、研究体制の充実を図る一方で、若手研究者の研究能力の育成を目指しており、任用期間終了時には受入教員からリサーチアシスタント研究指導報告書を、本人からリサーチアシスタント研究成果報告書の提出を義務付けている。

(14) 知的財産関係について

法人化を契機に、今まで以上に知的財産の保護、円滑な管理及び専門家の養成などが、急務となっており、知的財産委員会を組織した。

また、人間文化研究機構における知的財産管理室へ2名の職員を併任させるとともに、知的財産セミナーやシンポジウムへ積極的に参加させるなど、当館における知的財産の創造、保護及び活用に対する意識の向上に努めた。

著作物については、その保護や権利を巡り、裁判にまで及ぶ事例も報道されており、今後とも当館の研究の特性に配慮しながら、知的財産の基本理念に沿った体制整備が引き続き必要であると思われる。

(15) 公的研究費執行の不正防止について

研究費の不正な使用を防止するため、研究費執行のルールをすべての教職員にとって分かりやすいようマニュアルを作成し、各研究室等に常備するよう配布、周知徹底を図った。